

N糖尿病専門医養成コース

(以下のN糖尿病専門重点コースからなる)

76N 糖尿病内科専門医コース

79N 糖尿病・老年病専門医コース

77N 糖尿病合併症対策重点コース(特に腎症、高血圧対策)

80N 糖尿病・総合内科専門医コース

78N メタボリックシンドローム対策重点コース

■ コース概要

● コースの全体像

本コースは、総合的な糖尿病診療を行う専門医を養成する5年間のコースを基本とします。卒業臨床研修(前期研修)終了後に、後期研修として本コースに入ります。コース1年目は内科学会認定教育施設で一般内科研修を行い、コース2年目に大学院医学総合研究科に進学し研究を行うコースと、医師として大学病院および関連病院で糖尿病臨床研修を行うコースのいずれかを選択します。糖尿病の診断と治療とともに、糖尿病合併症(それも腎不全や足壊疽などの進行例まで)の診断と治療の習得、および糖尿病専門医と学位(医学博士)の取得を目標とします。また、糖尿病専門医とともに、腎臓、透析、総合内科の各専門医の取得も目指します。



● コースの指導状況

新潟大学第二内科では糖尿病専門医・指導医(2名)と、関連する腎臓専門医(10名)、透析専門医(10名)が指導にあたります。大学病院以外の臨床研修を行う関連病院でも、個々の専門医・指導医が指導を継続します。これらの専門医・指導医とは、学術講演会や情報交換会を通じて、指導体制の見直しを行っています。

■ N糖尿病専門医養成コースで取得可能な専門医

専門医	N専門重点コース
認定内科医 【日本内科学会】 ▶ 2-1	76N 糖尿病内科専門医コース 77N 糖尿病合併症対策重点コース 78N メタボリックシンドローム対策重点コース 79N 糖尿病・老年病専門医コース 80N 糖尿病・総合内科専門医コース
総合内科専門医 【日本内科学会】 ▶ 2-5	80N 糖尿病・総合内科専門医コース
糖尿病専門医 【日本糖尿病学会】 ▶ 2-71	76N 糖尿病内科専門医コース 77N 糖尿病合併症対策重点コース 78N メタボリックシンドローム対策重点コース 79N 糖尿病・老年病専門医コース 80N 糖尿病・総合内科専門医コース
腎臓専門医 【日本腎臓学会】 ▶ 2-73	77N 糖尿病合併症対策重点コース
老年病専門医 【日本老年医学会】 ▶ 2-81	79N 糖尿病・老年病専門医コース
透析専門医 【日本透析医学会】 ▶ 2-119	77N 糖尿病合併症対策重点コース
抗加齢専門医 【日本抗加齢医学会】 ▶ 2-145	78N メタボリックシンドローム対策重点コース

■ N糖尿病専門医養成コースの研修施設

施設名	N専門重点コース
▶ 3-1 新潟大学医学総合病院	76N 77N 78N 79N 80N
▶ 3-5 秋田大学医学部附属病院	76N 77N 78N 79N 80N
▶ 3-7 琉球大学医学部附属病院	76N 77N 78N 79N 80N
▶ 3-15 新潟県立中央病院	76N 77N 78N 79N 80N
▶ 3-29 新潟県立新発田病院	76N 77N 78N 79N 80N
▶ 3-33 新潟市民病院	76N 77N 78N 79N 80N
▶ 3-37 長岡赤十字病院	76N 77N 78N 79N 80N
▶ 3-51 新潟県厚生連長岡中央総合病院	76N 77N 78N 79N 80N
▶ 3-71 信楽園病院	76N 77N 78N 79N 80N
▶ 3-97 千葉東病院	76N 77N - - 80N

●研修実施責任者



新潟大学医歯学総合病院
腎・高血圧内科、呼吸器内科、
感染症内科、膠原病内科、
心療内科(第二内科)教授
成田一衛



新潟大学保健
管理センター
教授
鈴木芳樹



新潟大学医歯
学総合研究科
機能分子医学
寄附講座特任
教授
斎藤亮彦

●連絡先

新潟大学医歯学総合病院
腎・糖尿病・高血圧内科、呼吸器内科、感染症内科、膠原病内科、心療内科(第二内科)
総括医長 各務 博
TEL:025(227)2193 FAX:025(227)0775

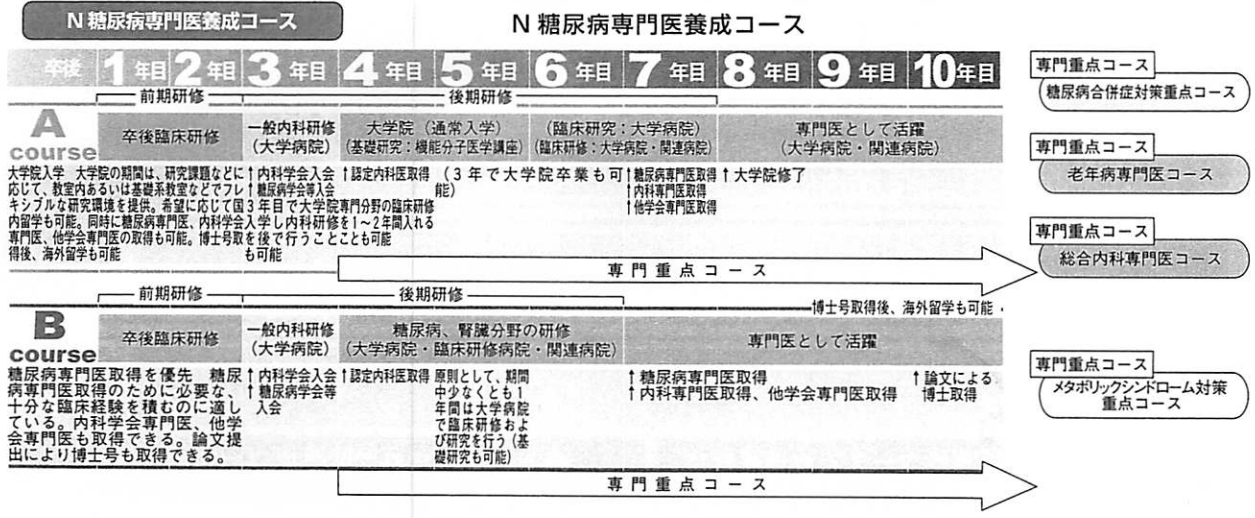
E-mail:hkagamu@med.niigata-u.ac.jp
HP URL:http://www.med.niigata-u.ac.jp/in2/welcome.html

■プログラム

●専門研修の特色

本コースでは、POSに従って病歴、身体所見、検査データからプロブレムを挙げ、系統的に鑑別診断を進める能力、Evidence Based Medicineを実践する能力を養い、最新・最良の糖尿病診療を行う専門医の育成を目的とします。

新潟大学第二内科は伝統的に腎臓病・高血圧を得意としており、糖尿病発症から末期腎不全・腎移植までを総合的に研修することが最も大きな特徴です。また、膠原病、呼吸器疾患、感染症、心身症も診療対象として、全人的な診断と治療をモットーにしています。



●専門研修プログラムの概略

糖尿病は多臓器にわたる合併症を有することが多く、糖尿病の専門的知識と技術の他に、総合内科医として多様な病態に対応できる能力が不可欠であるため、卒業臨床研修(前期研修)終了後の本コース1年目は後期研修として一般内科を研修します。本コース2年目から、大学院医歯学総合研究科進学と糖尿病臨床研修に分けられます。

Aコースは、大学院医歯学総合研究科に進学し、第二内科教室(臨床的研究)あるいは基礎教室(国内留学も含む基礎的研究)で2年間研究(内科認定医をこの間の卒業後4~5年目に取得)します。その後、研究を継続して学位論文を作成しながら、大学院および関連病院で糖尿病の臨床研修を行い、糖尿病および内科専門医資格を取得します。

Bコースは、大学院および関連病院で臨床研修を行い、あわせて臨床研究も行います。そして、糖尿病および内科専門医資格と、研究論文を提出することで学位を取得します。このコースでは、最短期間で糖尿病専門医取得ができるようにカリキュラムを作成しています。

その他、腎臓専門医、透析専門医、およびこれらの指導医の資格も本人の努力により取得可能です。当科は腎・高血圧・膠原病・呼吸器・感染症・心身症の subspeciality があり、それら各種病態に附随した糖尿病患者を経験することにより、いわゆる general medicine の習得も行うことができます。コース修了後(概ね卒業後10年)、大学に戻り糖尿病の指導者・教員を目指すものと、関連病院などで糖尿病専門医として活躍するものとに分かれます(当科出身者で新潟県内であわせて10名)。

以上は一般的な研修コースですが、女性医師に対しては産休・育休などのバックアップ、パート医員などの様々な対応方法があります。また、海外研究留学希望者は、研究の進捗状況に応じて適宜その選択が可能です(概ね卒業後8~10年頃)。

●各種学会認定専門医数

日本糖尿病学会糖尿病専門医: 2人
日本内科学会認定総合内科専門医: 4人

●各種学会認定指導医数

日本糖尿病学会研修指導医: 2人

●各種学会専門医修練施設としての認定

日本糖尿病学会認定教育施設
日本内科学会認定教育施設
日本腎臓学会認定教育施設
日本透析医学会認定教育施設



N専門研修案内2011

新潟大学医歯学総合病院
Niigata University Medical & Dental Hospital



な
り
た
い
自
分
に
な
る。

